

## 次期道路中期計画の策定に向けたアンケート調査について

### 1. 調査主旨

山形県では、平成 21 年度から概ね 10 年間の中期計画として「山形県道路中期計画 山形のみちしるべ 2018」を策定しました。その後、東日本大震災をはじめとする自然災害の脅威の増大、通学路での死傷事故、社会資本の老朽化、事業の長期化など、新たな課題へ対応するため、平成 26 年 3 月に「山形県道路中期計画 改訂版」を作成し、計画的な道路整備、維持管理に努めてきました。

この「山形県道路中期計画 改訂版」は目標年次を平成 30 年に設定しており、今後次期中期計画策定に向けた検討作業に着手することになります。

つきましては、今年度、その前段として、県民の皆様が感じている道路行政の取組みに対する意見を幅広く聴取するアンケート調査を実施することを検討しており、別添の案について評議会でのご意見を伺うものです。

### 2. アンケート調査の目的および実施方法について

- ・ 県民ニーズを掘り起こし、傾向を把握することによって、今後のみちづくりの方向性を探る。あわせて、今まで埋もれていた声を聞くことにより、より深みのある道路のあり方について検討する。
- ・ 効率的に意見を聴取するため「web モニターアンケート調査」を活用する。
- ・ 山形県全体の母集団（112 万人：H27 国勢調査）に対し、分析に必要な標本数を算定する「母平均の区間推定式<sup>\*</sup>」に従うと母集団を代表するために必要なサンプル数は 384 票となる。分析に向けた余裕を確保するため、目標票数を 400 票とする。

※標本から母平均の区間推定をする際の必要標本数を算出する式。一般的な統計手法として用いられる。

### 3. アンケート設問（案）

<主旨>

日頃より山形県の道路行政にご理解・ご協力をいただき誠にありがとうございます。

このたび、山形県の今後のみちづくり計画を策定するため、日頃から道路を利用されている皆様の満足度や今後必要だと感じている取組み等についてご意見を頂きたく、本アンケートへのご協力をお願いします。

【問 1】年齢、性別、自動車の運転（利用）頻度 等についてお聞きします。

#### 1. 年齢

20 歳未満  20 代  30 代  40 代  50 代  60 代  70 歳以上

#### 2. 性別

男性  女性

#### 3. 職業

有職者(パート含む)  学生・生徒  専業主婦(主夫)  無職・休職中

#### 4. 自動車の運転（利用）頻度

毎日  2 日に 1 回程度  週に 1～2 回程度  月に 1～2 回程度  その他

#### 5. 主に利用する車種

乗用車  普通貨物車  小型貨物車  その他 ( )

#### 6. 自動車の主な利用目的

通勤  通学  買物  通院  レジャー  業務  その他 ( )

#### 7. 居住地（大字まで）

( ) 市・町・村 ( )

【問2】 日常利用されている道路の満足度についてお聞きします。

1. 日常利用されている道路は渋滞がなく、スムーズに目的地まで行くことができますか？  
○満足 ○やや満足 ○ふつう ○やや不満 ○不満
2. 道路の幅員やカーブ、坂道、路面状況等、走りやすさはいかがですか？  
○満足 ○やや満足 ○ふつう ○やや不満 ○不満
3. 道路標識、路面表示は分かりやすいですか？  
○満足 ○やや満足 ○ふつう ○やや不満 ○不満
4. 道の駅やサービスエリア等の休憩施設（駐車場、トイレ、売店等）は快適に利用できますか？  
○満足 ○やや満足 ○ふつう ○やや不満 ○不満
5. 車窓や休憩施設からの自然の景色や街並み等の沿道景観はいかがですか？  
○満足 ○やや満足 ○ふつう ○やや不満 ○不満
6. 冬期の道路の路面状況や走りやすさはいかがですか？  
○満足 ○やや満足 ○ふつう ○やや不満 ○不満

【問3】 現状の山形県の道路に対し、上記項目またはそれ以外について特に不満に感じている事項がありましたら、具体的にご記入ください。（100文字程度）

【問4】 道路行政の透明化と効率化の向上を図るため、「山形県道路中期計画」を策定し、毎年、その進捗状況を確認する取り組みを行っています。この度、平成27年度の達成度報告書を取りまとめました。この報告書で設定されている5つのみちづくり方針と「10のみちづくり施策」において、引き続き取組みを強化していく必要があると思われるものはどれですか？最大3つまでお選びください。

5つのみちづくり方針	10のみちづくり施策	主な取組み(事例)	回答欄
1. 活気と交流を生み出すみちづくり (活力・交流)	1. 高速道路・地域高規格道路の整備中区間の供用と未着手区間の着手	<input type="checkbox"/> 高速道路・地域高規格道路の整備 <input type="checkbox"/> 追加ICの整備	
	2. 高速交通ネットワークの形成と連携したICアクセス道路等の整備推進	<input type="checkbox"/> 高速道路へのアクセス道路の整備 <input type="checkbox"/> 物流ネットワークの整備	
2. 暮らしと地域を支えるみちづくり (暮らし・地域)	3. 生活圏間・主要都市間ネットワークの整備推進	<input type="checkbox"/> 国道、県道の改築 <input type="checkbox"/> バイパスの整備 <input type="checkbox"/> 河川や鉄道横断部の橋梁整備	
	4. 生活幹線道路ネットワークの整備推進	<input type="checkbox"/> 生活道路や小規模な道路の改築 <input type="checkbox"/> すれ違い困難な箇所の待避所整備	
3. 人と環境を大切に するみちづくり (人・環境)	5. 中心市街地や都市の拠点機能を高める都市基盤の推進	<input type="checkbox"/> 主要渋滞箇所対策 <input type="checkbox"/> 都市内道路整備 <input type="checkbox"/> 鉄道駅や空港、高速バス停等の乗り継ぎ環境整備	
	6. 人に優しい道路空間の整備推進	<input type="checkbox"/> 通学路等の整備 <input type="checkbox"/> 歩道・自転車歩行車道、自転車道の整備 <input type="checkbox"/> 無電柱化(電線類地中化) <input type="checkbox"/> 歩道の消雪	
4. 安全と安心を確保するみちづくり (安全・安心)	7. 緊急輸送道路の強化の推進	<input type="checkbox"/> 道路の斜面補強 <input type="checkbox"/> 橋梁の架け替え <input type="checkbox"/> 橋梁の耐震対策 <input type="checkbox"/> 津波対策	
	8. 一般道路の機能向上の推進	<input type="checkbox"/> 落石対策 <input type="checkbox"/> 雪崩対策 <input type="checkbox"/> 堆雪幅確保 <input type="checkbox"/> 流雪溝整備 <input type="checkbox"/> 防雪柵設置	
5. 次の世代に継承できるみちづくり (保全・協働)	9. 予防保全型維持管理による道路施設の長寿命化(山形県橋梁長寿命化計画による修繕等の推進)	<input type="checkbox"/> 橋梁・トンネルの長寿命化 <input type="checkbox"/> 定期的な補修を行い、道路施設を効率的に管理 <input type="checkbox"/> 舗装を定期的に修繕し、耐用年数を増加	
	10. 県民協働と効率的な道路維持管理の推進	<input type="checkbox"/> 県民協働の取組 <input type="checkbox"/> 協働除雪	

【問5】新たな道路整備に向けて、「安全・安心の確保」「生産性向上・成長力強化」「地域活性化・豊かな暮らし」といった視点による主要な施策として以下のような項目が考えられます。

(※国土交通省道路局のH29年度概算要求にかかる資料より)

今後の山形県の道路整備を進める上で、重要と思われる施策はどのようなものと考えられますか？ 各視点毎に特に重要と思うものを3つまでお選びください。

視点	主要施策	Keyword	回答欄
国民の安全・安心の確保	(1) 道路の老朽化対策の本格実施	<input type="checkbox"/> 維持管理、道路施設の修繕	
	(2) 道路の防災・震災対策	<input type="checkbox"/> 防災対策、除雪体制の強化	
	(3) 無電柱化の推進	<input type="checkbox"/> 無電柱化、良好な景観形成	
	(4) 生活道路・通学路の安全対策	<input type="checkbox"/> 生活道路、通学路	
	(5) 自転車の安全対策	<input type="checkbox"/> 自転車走行空間整備	
	(6) 踏切対策の推進	<input type="checkbox"/> 踏切対策、立体交差点化	
	(7) 高速道路における安全対策の推進	<input type="checkbox"/> 逆走等の高速道路の安全対策	
	(8) ユニバーサルデザイン化の推進	<input type="checkbox"/> 高齢者・障がい者支援のためのユニバーサルデザイン	
生産性向上による成長力の強化	(1) ネットワークを賢く使う	<input type="checkbox"/> 既存の道路を上手に使う	
	(2) 物流対策の推進	<input type="checkbox"/> 物流、トラック輸送と空港・港湾の連携	
	(3) 大型車両の通行の適正化	<input type="checkbox"/> 大型車過積載の防止	
	(4) ストック効果を高める取組	<input type="checkbox"/> 道路整備による相乗効果を目指す取組み	
	(5) IT・ビッグデータを活用した地域道路経済戦略の推進	<input type="checkbox"/> ビッグデータ	
	(6) ITSの活用による自動運転等の支援	<input type="checkbox"/> 高度道路交通システム、自動運転	
地域の活性化と豊かな暮らしの実現	(1) 道路ネットワークによる地域・拠点の連携確保	<input type="checkbox"/> 地域・拠点の連携	
	(2) モーダルコネクットの強化	<input type="checkbox"/> モーダルコネクット(交通結節点)	
	(3) シェアリングの活用推進	<input type="checkbox"/> カーシェア、シェアサイクル	
	(4) スマートIC事業の積極的活用	<input type="checkbox"/> スマートIC	
	(5) 高速道路の休憩施設の活用による拠点の形成	<input type="checkbox"/> 休憩施設(ハイウェイオアシス)	
	(6) 「道の駅」による地域活性化の推進	<input type="checkbox"/> 道の駅	
	(7) 高速道路におけるPPPの活用	<input type="checkbox"/> 官民パートナーシップ(民間の資金・ノウハウの活用)	
	(8) 立体道路制度の活用や民間所有地の一体利用・道路空間の再配分	<input type="checkbox"/> 道路空間の再配分	
	(9) 民間との連携による道路空間の魅力向上	<input type="checkbox"/> 官民連携	
	(10) 観光振興の推進	<input type="checkbox"/> 観光	
	(11) 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を見据えた取組	<input type="checkbox"/> オリンピック・パラリンピック	

【問6】 豪雪地帯である山形県では、特に冬期の道路対策が必要な地域となっております。以下にあげる冬期の道路対策のうち、特に今後取り組んでほしい施策を3つまでご回答ください。

- 堆雪幅(=除雪した雪を溜めておくスペース)が確保された道路整備
- 消融雪設備(=ロードヒーティング等)が整った道路整備
- 冬場でも歩きやすい歩道の整った道路整備
- 現在よりも除雪の回数を増やしてほしい(車道)
- 現在よりも除雪の回数を増やしてほしい(歩道)
- 流雪溝(住宅街などで水路等を利用し排雪を補助するもの)の整備
- 冬場の走行や視界の確保を目的とした防雪柵等の整備
- 雪崩などによる通行止めが起きにくい道路整備(防雪柵・雪崩防止柵等)
- 民間活力度や地域住民の参加による除雪活動等の拡大(マイロードサポートなど)

【問7】上記4～6の設問以外で、山形県の道路施策として今後特に取り組んでほしいことについて具体的に記入ください。(100文字程度)

以上